日本臨床発達心理士会千葉支部　2017年度第2回資格更新研修会のお知らせ

期日　2017年10月22日(日)

会場　千葉大学西千葉キャンパス　教育学部1号館　１階大会議室

　　　千葉市稲毛区弥生町1-33　　JR西千葉駅または京成みどり台駅より徒歩

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(車の乗り入れはできません)

午前の部

9時30分～12時30分　(9時受付開始)

テーマ「保育現場への支援―個別計画作成と巡回相談を通して」

講演①「子どもの今までと今とこれからをつなぐ－障害のある子にかかわる諸計画について」

広瀬由紀 先生(植草学園大学発達教育学部)

要旨

2007年度に特別支援教育がスタートして10年が経ちました。また、平成2017年3月には、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領が告示されました。いずれにも、特別な配慮を要するお子さんに対して、個別に計画を作成することが望まれると記されています。

　この「個別の計画」は、フォーマットが決まっているわけではありません。すなわち、保育者や園、そこに関わる人たちが協同してよりよいものを作り上げていくことができるものであると捉えることができます。一方で、巡回の先生方からは「必要と思われることを伝えたのに現場で活用されていない」、保育現場の先生方からは「現場に取り入れることが難しい」などの声が聞かれ、ちょっとしたボタンの掛け違いが起きているかもしれない状況が時折見受けられるようです。今回は、いくつかの自治体等における取り組み例を紹介しつつ、領域ごとに見ているところの違いも踏まえながら、「子どものため」に互いのベクトルがうまく作用するためのヒントについて、参加された先生方と一緒に考えることができればと思っています。

講演②「巡回相談における観察の視点と指導・助言―支援員にむけた手作りガイド資料の活用」

水谷由里子 先生（東京都台東区松が谷福祉会館）

要旨

心理職に従事して20年近くが経とうとしています。6年前からは東京都台東区にある松が谷福祉会館こども療育室の非常勤職員（臨床発達心理士）として勤務し、当会館の相談事業の１つである巡回相談を約５年間担当してきました。

この巡回相談では、公立の保育園、幼稚園、こどもクラブ（学童保育）を対象に年間１回から複数回の定期相談の機会を設けています。また、私立や民営の施設等からも依頼を受けて実施しています。こども療育室に通って来られるお子さんについての連携や支援依頼などを受けて、必要に応じ巡回訪問を行うこともあります。巡回相談の内容は様々で、発達支援、精神面の支援、基本生活の自立支援、保護者支援、虐待相談、支援者支援など、多岐に渡っています。

このような相談経験を通して、巡回相談における観察の視点や指導・助言のあり方について、特に、要支援児に直接かかわることの多い担任と支援員に向けて、子どもを理解する視点や立ち振る舞い方をわかりやすく伝える為に、手作りガイド資料を作成してきましたので、その試みについて紹介します。

午後の部

13時30分～16時30分　(13時受付開始)

講演「こころをラクにあたまをクリアに－遅れのある子どもをはぐくむ親と専門家のために」

　大林泉 先生(臨床心理士)

要旨

今回の研修会では、臨床心理士として相談支援の専門家でありながら、一方で障害を持つ子どもを育ててこられた大林泉先生を講師として迎え、講演をしていただきます。

　大林泉先生の著書「こころをラクにあたまをクリアに」は、先生の体験と、多くの障害を持つ子どもの親たちの言葉から成り立っています。

講演ではこの著書の内容に基づき、前半は発達支援に携わる専門家として、「親たちの思いに耳をかたむける」こととは何か、について講演をしていただきます。子どもの言葉や発達のことで心配を抱える親たちは、日々の暮らしの中で不安や悲しみ苛立ちなど様々な思いを抱えています。前半では、このような親の言葉を取り上げていただきます。我が子に「障害」があるかもしれないことを突き付けられたとき、それを親がどのように受け止めるのか。親自身の悲しみや不安、葛藤だけでなく、親が置かれた社会との関係を臨床発達心理士はどのようにとらえ支援すべきか、考えていきたいと思います。

　また、講演後半では「親と専門家がつながる」ために、親が専門家をどう捉えているのか、専門家と接したときに親が抱く思いについて取り上げていただきます。専門家としての支援や助言が、ともすれば親の期待や意図からはズレてしまうこと、深く傷つけてしまうことを、支援に携わる者は深く認識する必要があるからです。また、診断名や療育の問題などは、専門家によっても説明や考え方も異なることがあり、親はしばしばそれによって混乱することがあります。また、保護者からの要求についても、単に「現実的ではない」「一方的である」と受け止めてしまうことがあります。

しかし、親の思いや要求は「専門家がより良いサービス提供者へと成長していく可能性の多さ」としてとらえていきたいと思います。

これまで、千葉支部の研修会では具体的な支援の方法についての研修を積み重ねてきましたが、しばしばそこで「支援に対する保護者の理解が難しい」といったことが話題になってきました。今回の公演では、保護者の背景にあるものを臨床発達心理士が整理し、理解することにより、それぞれ置かれた立場で、よりよい支援の在り方を考えていく契機にしていきたいと考えています。

〇参加方法

　　有資格者向け研修会。他支部からの参加も歓迎です。

事前申し込みの必要はありません。当日、直接会場にお越しください。

IDカードを必ず持参してください。

〇参加費　午前・午後各1,000円。当日、受付で集金します。

〇研修ポイント　午前・午後各1ポイント

本研修会についての問い合わせは、Eメールでお願いいたします